

## 住ノ江駅(南海本線)

## 豪商の粋極まれり! 加賀屋新田会所へ

住之江公園駅(地下鉄四つ橋線・南港ポートタウン線)

「大阪あそび歩マップ集」  
その2 No.092

## 南海住ノ江駅

## ①西住之江の町家

もともとこの地は、島村といわれる農地でしたが、地主によって区割整地をして、住宅を誘致しました。その完成碑が昭和11年(1936)に建立されています。戦災にも遭わなかったため、現在でもモダンでハイセンスな洋風長屋、和風長屋の町家が立ち並んでいます。

## ②十三間川せせらぎ

新大和川以降、奈良への輸送に鉄道ができるまでは、大坂～奈良間の水上交通の河川として使用され、剣先船が運航していました。剣先船は15～20石積で、全長17.5メートルほどといわれています。昭和45年(1970)、阪神高速道路工事にともなって川の大部分は埋め立てられました。一部が昭和58年(1983)に水辺の遊歩道として整備されました。



## ③新大和川

暴れ川だった旧大和川を何とかしてほしいと、河内国今米村の庄屋・中甚兵衛らが幕府へ大和川の付け替えを願い出て、宝永元年(1704)に柏原市築留から堺のほうに西流する人工の川が完成しました。当時は現在の国道26号線から西側はすべて海でした。

## ④柘貞寺

浄土真宗本願寺派の寺院で、ご本尊は阿弥陀如来です。堺の商人・小山屋久兵衛の子の法名が寺名となっています。歌人・与謝野鉄幹(1873～1935)は少年時代の明治20年(1887)、14歳までここの道場で学びました。

## ⑤高砂神社

元文2年(1737)、北島新田に加賀屋甚兵衛が天水分大神を勧請したのが起りであり、その後、小山屋久兵衛によって宝暦11年(1761)に社殿の造営をおこない、柿本人麿神を祀ったのがはじまりといわれています。

## ⑥高崎神社

ご祭神は天之水分大神・天照皇大神・柿本人麿大神です。宝暦5年(1755)に、初代・加賀屋(桜井)甚兵衛によって創建され、3代目のときに当地に移され、天照皇大神・柿本人麿大神を合祀したと伝わっています。

## ⑦加賀屋緑地

加賀屋地域は、延享2年(1745)、加賀屋甚兵衛によって開発されたものです。じつは江戸時代の大坂は新田開発ブームで、民間資金による開発の総面積は、今日の大阪市域のほぼ1/3にあたるといわれています。加賀屋緑地は宝暦4年(1754)に造られた加賀屋新田会所跡を整備したものです。遠州風築山林泉式庭園や文化12年(1815)に建築された茶室「鳳鳴亭」など、豪商・加賀屋の粋人ぶりがうかがえる貴重な歴史的文化的遺産があります。「日本の歴史公園100選」にも選ばれています。



地下鉄住之江公園駅

